

講義科目 : 文学Ⅱ	単位数 : 2
担当 : 今本 幸平	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

この講義では18世紀から20世紀のドイツ語圏の文学作品を取り上げます。難しそうに感じるかもしれませんが、文学の読み方に決まりや正解はありません。等身大で読めばよいのです。しかし古い作品の場合は手掛かりなしでは良く分からないことも出てくると思いますので、随時画像や音声などの資料も使って作者、当時の社会背景、文化など、作品以外の事柄も視野に入れて説明し、文学作品を味わう糸口を示していきたいと思えます。

文学作品に親しむことと、読んだ作品に対する感想や意見を自分の言葉で分かりやすく表現できるようになることがこの授業の目標です。

授業計画

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 ゲーテ『若きウェルテルの悩み』第1部
- 第3回 ゲーテ『若きウェルテルの悩み』第2部
- 第4回 民衆本『ファウスト博士』
- 第5回 ゲーテ『ファウスト 悲劇』第1部（学者悲劇）
- 第6回 ゲーテ『ファウスト 悲劇』第1部（グレートヒェン悲劇）
- 第7回 ゲーテ『魔王』
- 第8回 グリム童話
- 第9回 シャミッソー『影をなくした男』
- 第10回 E. T. A. ホフマン『砂男』
- 第11回 シュピーリ『ハイジ』
- 第12回 カフカ『変身』
- 第13回 ジュースキント『コントラバス』
- 第14回 シュリンク『朗読者』第1部
- 第15回 シュリンク『朗読者』第2、3部

※取り上げる作品、順序などは変更する場合があります。

教材・テキスト・参考文献等

教科書は使用しません。講義で使用する資料は講義開始前に教室前方に置いておくので各自取ってください。

成績評価方法

- ・原則として100%定期試験の内容で成績評価をします。（試験では合計1000字程度の作文を書いてもらいます。試験課題は試験の約一か月前に通知する予定です。）
- ・出席が全授業の3分の2未満の場合は成績評価の対象外（無資格）とします。自分の欠席回数は各自で把握しておいてください。
- ・毎回作品に関連する課題コメント（100～200字程度）を書いて提出してもらい、それで出席の確認をします。授業時に教室にいてもコメントを提出しなかったり、コメントを書かなかった場合は欠席扱いとなります。出席回数による成績の減点・加点はしません。

その他

- ・講義の前でも後でも良いので、自分でも作品を読んで味わってください。
- ・「文学Ⅰ」を履修していなくても受講可能です。